



公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第102号 2017年3月22日 発行

七尾市でシンポジウム開催 地域包括ケアにおけるリハビリテーション ～リハ専門職種活用の可能性～

公益社団法人石川県作業療法士会 会長 進藤 浩美

いよいよ平成29年4月より、全国で介護予防総合事業が本格的に開始される。市町ごとに、地域包括ケアシステムの構築を目指し、特色ある新しい介護予防サービスが展開される。当会、石川県理学療法士会、石川県言語聴覚士の3団体と石川県では、各地域の地域包括ケア構築の関連職種の方々に、リハビリテーション専門職の活動を理解して頂くとともに、リハビリテーション専門職自身が地域の実状を把握し、市町事業への関わり方を考えるため、昨年度より「シンポジウム」を合同開催している。

今年度は、平成29年1月22日に七尾市をモデル地区として開催し、作業療法士58名、理学療法士42名、言語聴覚士16名、その他の職種の方32名、合計148名に参加いただいた。シンポジストは6名、①七尾市健康福祉部保険課の松本美百紀氏より、七尾市の現状と介護予防総合事業の取り組みについて説明をいただき、②七尾市地域包括ケアセンターの北山達朗センター長より、地域包括ケアセンターでの事業を紹介いただいた。③七尾市社会福祉協議会の善端恭子地域福祉課長より、各種事業の説明をいただいた。中でも高齢者のボランティア事業とポイント制、その還元については、元気な高齢者にはぜひお薦めの介護予防と思われた。④ななお紫蘭の会会長の圓山寛人医師より、七尾市と中能登町で展開している医療と介護の連携、人材育成のための研修事業の報告を受けた。ぜひ、会員の方には研修会に参加していただき、顔の見える関係を構築していただきたい。⑤国際医療福祉専門学校七尾校の島崎貴士教官(作業療法士)より、七尾市の各地にできているグループデイの支援報告をいただき、さらに学生教育としてそれを利用している報告を受けた。⑥恵寿居宅介護支援事業所の諏訪勝志管理者(理学療法士)より、七尾市の地域ケア会議での介護予防マネジメントについて報告していただいた。

終了後のアンケートの回収率は、72%であり、もう少し長く各講師の話を聞きたかったという内容が多かった。私たちは、各市町の介護予防総合事業について知る努力とそこに関わる方々と顔の見える関係づくりを行う中で、対象者の身体的、精神的、社会的自立に向けた支援ができるようにスキルアップしなければならない。



第26回石川県作業療法学会 テーマ：未来への生きがいを生む作業療法

第26回石川県作業療法学会 学会長 河野 光伸(金城大学)

近年、作業療法の分野における学会や研修会、勉強会の開催数は増加してきている。一方で、年々、作業療法士数は増加しているのだが、学会や研修会、勉強会への参加人数は伸び悩んでいるのが現状である。理由として、1年間に365日の作業療法提供を取り入れている施設が増加していること、学会、研修会などの増加に伴い参加者が分散していること、学会、研修会などの運営・準備に努力されている人が増えたことなどが考えられるだろう。また、養成校の教員も、作業療法士協会・リハ学校協会関係の業務に加え、近年、国内で求められてきている地域創生、高大接続事業など、各々の養成校での業務が増えたことも理由として考えられる。このように、作業療法士の業務は以前に比べ非常に多くなり、みなさん日々の業務に追われていることと推察する。



さて、医学は日々進歩し、我々作業療法士を取り巻く環境も大きく変化している。環境の変化への対応として「情報収集」が欠かせないことはみなさんもお存じであろう。この情報収集を有意義に行うことができるのが、学会や研修会での意見交換であると思う。「人のためになる仕事に就きたい」という気持ちを持ち、作業療法士を志したころを思い出し、自己研鑽のための時間を作る努力をする人が増えることを願いたい。

みなさん忙しい日々を送られているとは思いますが、差し当たって、石川県作業療法学会に参加し、自分を高める努力をするのはいかがでしょうか。そして、多くの方にご発表いただけることにも期待したい。

第26回石川県作業療法学会 スケジュールについて

日時	2017年6月25日(日曜日)
場所	金城大学医療健康学部棟 (〒924-8511 石川県白山市笠間町1200)
内容	<p>■特別講演：澤 俊二氏(金城大学医療健康学部 教授) テーマ「未来への生きがいを生む作業療法～脳卒中の追跡調査から考えたこと～」</p> <p>■一般演題</p>
演題登録について	<p>演題登録は下記URLにアクセスをどうぞ！ (http://www.ishikawa-ot.com/iotc-e-entry.html) 演題応募締め切り：2017年3月26日(日) 抄録提出締め切り：2017年5月14日(日)</p>
学会参加の事前登録について	<p>事前登録は下記URLにアクセスをどうぞ！ (http://www.ishikawa-ot.com/members/app) 事前登録締め切り：2017年6月16日(金) 正午 受付作業の効率化と事務作業軽減の為に事前登録にご協力ください！！</p>

* 上記内容は、石川県作業療法士会HPにも掲載してあります。詳細は、HPをご覧ください。多数の演題をお待ちしております。

東海北陸作業療法士会リーダー養成研修 2016 in 富山 に参加して

金沢西病院 白山 武志

平成28年12月3日4日に富山市で開催された「東海北陸作業療法士会リーダー養成研修」に参加した。富山大学経済学教授の船橋先生による講演「リーダーとして必要なこと」「頭で考えていることを言葉にする能力を高める実践」を2日間にわけて受講した。グループワークでは、異なる意見をまとめていく方法等、多くのことを学んだ。また、他県の活動を聞くことや石川県メンバーで話し合う等、貴重な経験ができ、今後の県士会活動に活かしていきたいと思った。

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 高間 達也

東海北陸作業療法士会リーダー養成研修に石川から5名参加した。富山大学の船橋伸一教授から「リーダーとして必要なこと～チームを引っ張るために」と題した、リーダーの資質について講義を受けた。労働経済学からみた医療系職業の状況など、普段の視点と異なる講義内容であった。リーダーの資質の一つで「相手を納得させ、協力を得る」ことが挙げられた。今後の県士会活動を行うにあたり、様々な視点からの情報や考えを取り入れ、行動を起こしたいと感じる貴重な機会となった。

かないわ病院 曾我部秀宣

今回の研修の講義は大変興味深く、普段聞くことの出来ない世の中のしくみの裏側を垣間見る思いで引き込まれてしまった。リーダーとして世の中の流れを読み、溢れる情報に右往左往することなく何が核心なのか正しく把握し判断し行動していくことの大切さを学んだように思う。グループワークは一見とても楽しいものであったが、内容は非常に深く、組織において意見の多様性を認め、皆が納得できる形で集約し組織の意見としていくかを実践的に学べる貴重な機会となった。

浅ノ川総合病院 小浦 綾乃

富山大学の船橋伸一先生を講師に迎え、「リーダーとして必要なこと」の講義などが行われた。グループワークでは、「採用人事」「人類滅亡」といった「!？」な題材で、自分の考えを人に伝えること、意見をまとめて合意形成すること等を学んだ。また、「輝く県士会のために」をテーマに、県士会毎での議論やワールドカフェ形式での情報交換も、興味深いものであった。研修のみならず、同じ県士会の同年代・似た立場のOT達と悩みを共有できたことも収穫であった。今後さらに努力したい。

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 石田 真希

今回の研修ではリーダーとして求められる資質として「具体性を持って相手を納得させ、協力を得ること」「現状を把握し、周囲と目標の合意形成すること」が挙げられ、課題としてグループディスカッションを行った。みんなが納得できる基準を議論し決定していく過程を体感することができた。また、他県同士での情報交換の機会もあり、それをもとに石川県士会活動についてSWOT分析を用いて話し合うことができ、今後の活動に生かしていきたいと思った。



左から
曾我部氏、小浦氏、高間氏、石田氏、白山氏



研修会の様子

補装具研修会に参加して

石川県リハビリテーションセンター 柿崎亜紗奈

平成29年1月21日「補装具研修会」に参加した。

石川県身体障害者更生相談所の清光百合子氏、石川県リハビリテーションセンターの寺田佳世氏より、補装具制度の概要、申請方法(車椅子)の講義をいただき、その後グループワークが行われた。

『補装具費支給制度』と聞いても、今まで私はあまり把握していなかったが、『失われた身体機能を補完・代替えし、かつ、長時間にわたり継続して使用される用具であり、職業その他の日常生活の効率の向上を図ること。』を目的としていると知り、OTの技術の一つとして必要不可欠な制度であることがわかった。そのため、今回学んだことをOTの強みとして生かしたい。

～他の参加者の感想(アンケートより)～

- ・補装具の申請方法や必要書類、OTとして知らないといけない事を再確認できた。
- ・グループワークでケース検討を行い、オーダーメイドの車椅子を作製するための意見書で必要な内容、修理項目の考え方が理解できた。
- ・人から車いすを考えることの大切さを今後活かしていきたい。



研修会の様子

第1回 自動車運転に関する合同研究会

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 高間 達也

平成29年1月21日北九州国際会議場で開かれた、「第1回自動車運転に関する合同研究会」に参加した。当研究会は、2008年発足の「運転と認知機能研究会」と「障害者自動車運転研究会」及び、2013年に発足した「自動車運転再開とリハビリテーション研究会」が初めて合同で研究会を行ったものである。

今大会中の世話人会議にて、本研究会は来年度以降、3研究会が統合し、名称を「第2回日本安全運転・医療研究大会」とすることに決まり、全国規模の学会化を目指していくこととなった。

今回の研究会では、医師、OT・PT・ST、心理士などの医療従事者に加え、理工学者や警察関係者、自動車学校協会関係者の参加があった。それぞれの立場からの提言や講演を聞くことができたが、どの立場からも、高齢者や脳卒中患者に対しての自動車運転再開支援において、各組織や各職種による連携の必要性が述べられていた。

実際の講義内容は、各研究会の取り組みや現状などの報告や、その他の組織・職種からも現状報告がなされた。その一つとして、平成29年3月12日に改訂施行される道路交通法の変更点の講義があった。改定により、認知症者に対しての基準が厳しくなり、さらに交通脆弱者が増える可能性がある。

しかし、平成28年10月の毎日新聞では、脳卒中の元患者の運転再開について医療機関や教習所が行っている検査やテスト、実車評価について、警察庁が初めて容認する旨の記事が掲載された。昨今、高齢者による自動車運転事故が社会的な問題となっているが、高齢者や脳卒中患者に対しての自動車運転再開支援は医療界に留まらず、様々な組織や職種と連携を取りながら進めていく必要性を感じた。

石川県作業療法士会においても、自動車運転についての委員会を設置することとなった。自動車運転再開支援について、県内のOT間で連携し、さらに他の組織・職種とも連携を図っていききたいと考えている。



会長の労働者健康安全機構九州労災病院 門司メディカルセンター院長 蜂須賀氏

MTDLP実態調査報告

MTDLP推進委員会 中森 清孝(加賀のぞみ園)

平成28年10月中旬に、県内の通所リハビリテーション施設(以下、DC)に勤務する作業療法士(以下、OT)を対象に生活行為向上マネジメント(以下、MTDLP)の活用実態調査を行った。石川県と金沢市ホームページより指定登録済DCを抽出し、最新の県士会会員名簿と施設名が照合したDC80施設に協力を依頼した。先ず、この場をお借りし、協力して頂いたOTの皆様、本当にありがとうございました。

以下に実態調査結果を報告する。アンケート回収率は54/80施設の67.5%。協力DCのOTは1.38人/1DCで兼務者が多かった。平均経験年数は8.2年。MTDLPを実践しているOTは、協力者の内70%を占めるが、日々の実践に活用しているのは約30%であった。DCのMTDLPに関連する加算取得状況としては、リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ(以下、リハマネⅡ)が、協力OTの60%で取得しており高い取得率であった。しかし、生活行為向上リハビリテーション加算(以下、生活行為向上リハ)は24%となった。これに対し、算定取得のためには「ケアマネジャー(以下、CM)や関連職種への啓発」と「医療(病院)からDCへの連携」を意識していくべきだと考えている意見が多かった。

今後についてMTDLP推進委員会で協議した内容としては、リハマネⅡや生活行為向上リハを積極的に実践するDCのモデルケースをCMやDC職員を含めて学ぶ機会を設けていくこと。また、入院前の介護保険サービスを退院直後より再利用するのではなく、一時的にDCを経由し、入院前サービスへソフトランディングできると良いという具体的な案について協議された。いずれにしても、介護保険領域だけではなく、医療保険領域を含めた1人ひとりのOTがMTDLPを活用し、入院から在宅へ生活を展開する際に、具体的な目標設定や卒業支援につながっていくよう、心がけていくべきではないだろうか!

MTDLP基礎研修会に参加して

芳珠記念病院 合歡垣紗耶香

平成28年12月4日に金沢大学医薬保健学域保健学類宝町・鶴間キャンパスにて、MTDLP基礎研修会を開催し、県士会員53名が参加した。今回は石川県立高松病院村井千賀氏をお招きし、対象者の希望、生活行為を捉え、包括的な視点でマネジメントできる作業療法の素晴らしさ、一方で作業療法が置かれている厳しい現状についてもお話しいただいた。新人からベテランまで参加者がいるなか、参加者の胸に響いたことと思う。私自身、実践者研修は終了しているが、MTDLPの各シートを作成したうえで本研修に参加したことで、新たな気づきがあり学びとなった。MTDLPは事例を重ねていくことで対象者を包括的にマネジメントする視点や客観的視点、予後予測の正確性が磨かれるものと考えている。実践者研修を修了した会員にも、基礎研修や各支部で開催される事例検討会に積極的に参加していただき、石川県の作業療法技術をさらに高め、より多くの対象者がいきいきと望む暮らしを送れるように支援していきたいと思う。



研修会の様子(中央は講師の村井氏)

石川県訪問リハビリテーション研修会に参加して

恵寿総合病院 五十嵐満哉

石川県訪問リハビリテーション連絡会が主催する第7回石川県訪問リハビリテーション研修会が、平成28年12月17日18日に石川県リハビリテーションセンターにて85名のPT、OT、STが参加して行われた。「ハウモンGO～地域のニーズに応えきる！多様な訪問リハビリテーションの展開」テーマのもと、1日目は、リハビリ推進センターの阿部勉先生より、「活動と参加に焦点をあてたアプローチ」について講義・演習が行われた。地域包括ケアの構築が進められてきている中、現在の訪問リハの課題や、活動や参加に繋げていくためには対象者の強みに焦点をあてたアプローチが重要だとお話され、自分自身も今までの訪問リハでの取り組みについて改めて考え直される濃い内容であった。2日目は、「多様な訪問リハの展開」として多領域・職種の方によるシンポジウムとグループワークが行われた。県長寿社会課の方や医師から訪問リハに期待すること、神経難病や緩和ケア、まだまだ数は少ないが小児分野における訪問リハの役割、当会明福真理子理事からは、介護老人保健施設の役割についてお話を頂いた。2025年問題により在宅医療の需要が今後増してくる中で、訪問リハでいかにその人のQOLを高めていくこと、そして医療と介護の連携をより密にしていくことの重要性を学んだ。グループワークでは、4画面思考法という方法を用いて、地域や自分たちの課題について、現状やなりたい姿、実践方法などをOT、PT、STと一緒に熱く話し合い、訪問リハについて見直す良い機会となった。



研修会の様子(中央は明福氏)

各支部支援活動状況

金沢東支部

金沢大学附属病院 堀江 翔

平成28年度の第3回の事例検討会を2月3日(金)に金沢大学病院にて開催した。参加者は26名、事例検討は6題であった。ある程度時間をかけて深い検討ができたと思う。来年度も年3回の検討会、1回の研修会を予定している。今回実施したアンケートを元に東支部らしいテーマの研修会を開催したい。最近、参加者の所属施設が限られてきており、より広く参加者を集められるよう内容の検討、インフォメーションを行っていききたい。

能登支部

公立能登総合病院 岡崎 律江

2月4日(土)・5日(日)に、国民宿舎能登小牧台にて1泊研修会を開催した。1日目参加者35名、講師にリハビリ型就労スペース「リハス」藤島健一氏を迎え、「障害者就労支援における作業療法士の取り組み—就労継続型支援A型・B型事業所の設立を通して—」について講義して頂いた。食談会でも興味深い話を聴かせて頂き1泊研修会の醍醐味とも言える熱い夜となった。2日事例検討会は参加者30名、発表者7名、臨床の実践を聴ける場となった。

金沢西支部

公立つるぎ病院 笛山 卓弘

2月25日(土)に『介護予防・日常生活総合支援事業について』と題した研修会、第3回事例検討会を金沢脳神経外科病院にて開催した。参加者31名、事例検討4題であった。研修会は野々市市地域包括支援センターの寺尾朋美氏、金沢脳神経外科病院の東川哲朗氏を招き、基本的な知識と4月から野々市市、金沢市で行われる事業内容を報告して頂いた。質疑もあり理解を深める機会となった。今回、子供連れて参加できるよう研修会を企画した。1組の参加があり来年度も企画していききたい。

加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

2月19日(日)に、芳珠記念病院において研修会と事例検討会を実施した。研修会は、金沢福祉用具情報プラザ館長の安田秀一氏を招き、「OTと福祉用具」と題し、介護保険制度における福祉用具の位置付けや、座位姿勢におけるアセスメントや福祉用具の適応について学んだ。参加者は23名であった。昼食を挟んだ事例検討会では、5症例について発表と質疑応答がなされた。参加は19名、認定OTは3名であった。職場環境の調整や認知症患者の思いに寄り添うことに難渋したケースについて討議がなされた。今年度の事業はすべて終了したが、来年度も皆さんには積極的な参加を期待する。

日本作業療法士協会主催研修会報告

認知症作業療法推進委員会議報告

自立就労支援センターいしびき 岡田 千砂
(認知症予防推進委員会 委員長)

各都道府県から1名認知症作業療法推進委員が選出され、平成28年12月19日20日東京にて認知症作業療法推進委員会議が行われた。

来年度より、各県士会で「認知症アップデート」研修会を開催することになる。この研修の目的は、地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士を確保するために、認知症に関する最新、かつ最低限の知識を習得させるもの、とのこと。県士会でも来年度12月頃にこのアップデート研修を行う予定であり、特に、普段認知症の方と接する機会の少ない分野の方の参加を期待したい。

災害支援ボランティア研修会報告

石川県リハビリテーションセンター 東 ひとみ

平成28年11月13日、日本作業療法士協会主催の平成28年度災害支援ボランティア研修会が開催され、災害ボランティア8名、県士会員22名、JRAT8名(重複あり)の実人数28名、協会災害対策室員等を含め約40名が参加した。はじめに、東日本大震災、茨城水害、岩手県台風10号、熊本地震の活動報告があった。各活動報告で共通したことは、他職種連携が重要なため、日頃から顔のみえる関係づくりが必要であること、災害時に備え職能団体として組織率をあげることが重要と言われていた。その後、6グループに分かれて、「それぞれの立場から、災害に備えて平時から何を準備すべきか」をテーマにディスカッションを行った。全グループ共通して会員への啓発普及が課題であった。今年度石川県では、PT・OT・ST連絡会で研修会を開催し100名近くの参加であったが、全会員数から見ると少ないと感じている。会員の皆様、「災害リハ」を検索してほしい。また、会員同士が声を掛け合い、研修にご参加いただきたい。

地域包括ケアシステム推進委員会研修会報告

芦城クリニック 村田 明代

協会の地域包括ケアシステム推進委員会は、地域包括ケアシステムの体制作りには参画し、地域に貢献できる作業療法士の人材育成をすすめ、各市町で展開されはじめている地域ケア会議や介護予防・日常生活支援総合事業(いわゆる総合事業)への作業療法士の参画を推進する活動をしている。協会では、H28年6月に『地域ケア会議に資する人材育成研修会』、H29年2月26日に『介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会』を開催し、47都道府県の士会が地域の実情に応じた地域包括ケアシステムに参画する人材育成のための研修が行われた。研修会では、地域包括ケアシステムの理解、リハ専門職としての作業療法士の役割、他職種との連携やマナーなどの講義に続き、先進士会の活動報告と各士会の活動状況などの情報共有を行った。

平成29年度には県内の多くの自治体でも総合事業がスタートする。当士会も地域に貢献できる作業療法士を増やすために人材育成研修会を予定しているので、ご参加いただきたい。

福祉用具相談支援運用事業 合同業務連絡会報告

石川県リハビリテーションセンター 寺田 佳世

みなさん、協会が開発・構築した「福祉用具相談支援システム」をご存じでしょうか？

このシステムは福祉用具の適応・選定・適合に関する相談支援と情報提供を可能にする日本OT協会会員向けのWebシステムである。今回初めて、システムを運用している所属県の代表OTが集まり、①新規登録者獲得のための広報活動について、②次年度全市町で実施される総合事業にOTが関わる知識として、会員の参考になるよう協会が今年度モデル事業で実施してきた「生活行為工夫情報の提供」についての報告があった。①については会員の皆さんWebシステム(<https://www.jaot.info/>)に登録し、気軽に相談してほしい。②については現在準備中でH29年度も工夫情報の収集を予定しており、今後も進捗状況を報告する。

平成28年度 公益社団法人石川県作業療法士会 ◆◆◆第2回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成28年12月1日(木) 19:00～19:45
2. 場所：西泉事務所
3. 出席理事：進藤、寺田、東川、安本、麦井、大西、明福、村田、西谷、岡田、渡邊、河野、西村、井上、高多、川上
出席監事：後出、中川
欠席理事：小池、寺尾
4. 議事
【会員動向】平成28年12月1日現在 正会員数762名(個人賛助会員2名含む)
第1・2号報告：平成28年度上半期事業報告及び下半期事業計画について各担当理事より説明。
第3号報告：生涯教育制度会議に出席した川上理事より、制度改定案について報告。
第1号議案：平成28年度補正予算・中間決算案について、安本理事による説明と進藤会長による補足説明があり、全員一致で承認。
第2号議案：会議費及び日当費支給規程について安本理事より説明があり、全員一致で承認。
その他：後出監事による監査意見報告の後、進藤会長より指摘事項について説明。

◆◆◆第4回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成28年12月1日(木) 19:55～20:55
2. 場所：西泉事務所
3. 出席理事：進藤、寺田、東川、安本、麦井、大西、明福、村田、西谷、岡田、渡邊、河野、西村、井上、高多、川上 (欠席理事：小池、寺尾)
4. 議事
・新会員の研修会参加促進について、東川副会長兼事務局長より報告。

◆◆◆第5回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時：平成29年2月2日(木) 19:00～21:40
2. 場所：西泉事務所
3. 出席理事：進藤、寺田、東川、安本、麦井、大西、明福、村田、西谷、岡田、渡邊、寺尾、河野、西村、井上、高多、川上 (欠席理事：小池)
4. 議事
第1号議案 各部・支部・委員担当理事より事業経過報告について説明。
第2号議案 平成29年度事業計画案と予算案について安本理事より説明。次回理事会にて承認予定。
第3号議案
・生涯教育基礎ポイント認定について川上理事より申請があり、承認。
・災害対策委員会について東ひとみ氏より報告。
・MTDLP実態調査について中森清孝氏より報告。

平成29年度会費納入についてのお知らせ

- ・石川県作業療法士会年会費：5,000円
 - ・4月以降県士会に新規入会の場合、入会費：5,000円 年会費：5,000円 計 10,000円
- 【納入期限】平成29年4月末日 *ただし、必ず納入は4月1日以降でお願いします。
- 【納入先】●北國銀行 野田支店 普通 260902
公益社団法人 石川県作業療法士会 会長 進藤浩美
●郵便振替 00720-7-22369 公益社団法人 石川県作業療法士会
- 【お問い合わせ先】
(公社)石川県作業療法士会 山下 yamashita@ishikawa-ot.com FAX：076-259-0681

インフォメーション

詳細などは随時HP等でお知らせします。
ご確認ください。

平成29年度 公益社団法人 石川県作業療法士会 総会

～表彰式典・新人歓迎会～

日程：5月20日(土)
場所：KKRホテル金沢
〒920-0912
石川県金沢市大手町2-32

平成29年5月の任期満了に伴う、役員候補者選挙を行います。

それに際し、理事(15名以上18名以内)・監事(2名)の立候補を受け付けます。立候補受付期間は、平成29年3月25日～4月8日です。理事選挙に立候補される方は、所定の届出用紙および選挙公報に掲載する意見等を、期間内に選挙管理委員会(石川県作業療法士会西泉事務局)まで届出をお願いします。

詳細については、選挙公示または県士会Webをご確認下さい。

選挙管理委員会

KINJO UNIVERSITY

社会福祉学部
社会福祉学科
社会福祉専攻/こども専攻

医療健康学部
理学療法学科
作業療法学科

看護学部
看護学科

大学院
リハビリテーション学研究科
リハビリテーション学専攻(修士課程)

金城大学大学院
リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻(修士課程)

- ◆次世代リーダー養成のための実践力を高める教育体制
- ◆就業しながら学べる昼夜開講制・長期履修制度
- ◆授業料や奨学金制度など経済的負担にも配慮

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200番地
TEL.076-276-1400 (代表) FAX.076-275-4316
http://www.kinjo.ac.jp/ku/

在宅ならではの深い関わりが持てる!!
「退院後の人生を支えたい」そんな想いで介護の業界に入りました。お客様とじっくり関われる今の環境にやりがいを感じています。

デイサービス 太陽のリゾート白山
管理者(作業療法士) 中富 博久

↓こちらの事業所で募集中です↓

金沢市、野々市市、白山市の
◆デイサービス ◆訪問リハビリ(有料老人ホーム内勤務)

正社員 月給…270,000円～、時間…8:30～17:30または9:00～18:00
休日…週休2日(シフト制)、賞与年2回、社会保険完備、退職金あり

パート 時給…2,000円～、時間…1日2時間以上
勤務…1ヶ月の勤務回数応相談、労災あり ※時間に応じて雇用保険・社会保険加入

共通 昇給年1回、交通費あり、各種資格手当、日/祝出勤手当、OJT制度

株式会社 サンウェルズ SUNWELLS GROUP
金沢市、白山市を中心に16ヶ所の介護施設を運営しています。
<お問合せ> 株式会社サンウェルズ本社 人事部：東(ひがし)
☎076-272-8982

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
学校法人阿弥陀寺教育学園
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生生会えんやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会

医療法人社団輪生会
医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
株式会社半田
株式会社ヤマシタコーポレーション金沢営業所
セントラルメディカル株式会社
三星自動車販売株式会社
株式会社メディベック
株式会社サンウェルズ

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
さわやか金沢

会員動向

石川県作業療法士会員数 754名(平成29年3月現在)
認定作業療法士 32名(平成29年2月現在)

編集後記

日増しに暖かくなり、春がもう目の前にやってきた。平成29年度、新たな作業療法士を迎え、県士会がますます発展していくことと思う。2月26日に第52回作業療法士国家試験があった。学生が、毎日毎日必死に勉強し、緊張感のある姿を目の当たりにし、身の引き締まる思いであった。4月から、社会人として、作業療法士として働く皆さんを、精一杯応援したい。私は、4月から13年目の作業療法士として気持ち新たに頑張りたい。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：明福真理子、酒野直樹、入江啓輔、藤田隆司、杉浦有子、寺井利夫、川口朋子、谷内香織、橋本実、小川正人、買手登美子、平木咲代子、福井清美、前田勝也、中寺智也、山本真一郎、山崎佳子、川口日和、伊関浩克、山田ともみ、田中明、犬丸敏康

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：進藤浩美 印刷：ヨシダ印刷株式会社